

2016年8月31日

(株)ジェイティービー・パナソニック(株)・ヤマトホールディングス(株)に協力 羽田空港国際線ターミナル駅で「手ぶら観光支援サービス」実証実験場所を提供

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，取締役社長：原田 一之，以下 京急電鉄）は，株式会社ジェイティービー（以下，JTB），パナソニック株式会社，ヤマトホールディングス株式会社が実施する手ぶら観光支援サービス「LUGGAGE-FREE TRAVEL」の実証実験に協力し，羽田空港国際線ターミナルの京急ツーリストインフォメーションセンター（京急TIC）横に「特設カウンター」を設置いたします。

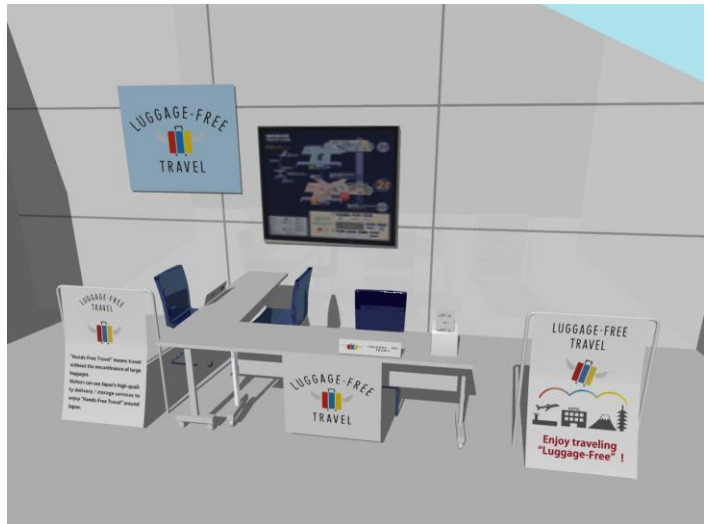
京急電鉄では，訪日される外国人のお客さまに向けた羽田空港国際線ターミナル駅のさらなる利便性の向上のため，日本の玄関口にふさわしい「おもてなし」を実現による，さまざまなサービスを計画しており，今回の実証実験への協力もその取り組みのひとつとして位置付けております。

「LUGGAGE-FREE TRAVEL」の実証実験についての詳細は，別紙のとおりです。



羽田空港国際線ターミナル 2F到着ロビー

Haneda Airport International Terminal 2F Arrival Lobby / 羽田机场国际线航站楼 二层到达大厅
羽田機場國際航廈 二樓入境大廳 / 하네다공항 국제선 터미널 2층 도착로비



特設カウンターイメージ

別紙

「LUGGAGE-FREE TRAVEL」実証実験について

<実施期間>

日本でのサービス提供：2016年9月1日(木)～2016年10月31日(月)

<実施内容>

JTBの予約管理システムにて、都内の対象ホテルの宿泊を訪日前（海外）にお申込みいただいた訪日外国人旅行客を対象に、手ぶら観光支援サービスを告知・提供します。

サービス申込者には受付用番号とバーコード付きバウチャーが発行され、日本到着後に羽田空港および、ホテルの専用端末で認証させることにより、日本語で送り状を手書きすることなく大型手荷物を宿泊施設や空港まで輸送することが可能になります。

今回の実証実験において、以下の検証を行います。

- (1) 技術検証：旅程情報システムと送り状発行システム連携等の検証
- (2) 運用検証：宿泊施設での荷受・送り状発行時の操作性や有効性、訪日外国人旅行客にとっての利便性を検証

<実施施設>

羽田空港国際線ターミナル駅	京急T I C特設カウンター
都内ホテル（6ヶ所）	サービス受付用専用端末を設置

◆◆◆京急が目指す羽田空港国際線ターミナル駅の将来ビジョンについて◆◆◆

“ワンストップサービスで訪日外国人の旅のニーズにお応え”

本年度中の訪日外国人2,000万人突破が確実視されるなか、訪日外国人のお客さまの受け入れ環境整備や、快適な旅をサポートするサービスの充実が急務です。

京急では日本の玄関口である羽田空港のアクセスを担う企業グループとして、玄関口にふさわしい「おもてなし」を実現してまいります。羽田に降り立ったら、不慣れた日本の旅を快適にするために、必要なものを「ワンストップ」で整えていただきます。

また、お帰りになる際には、旅の仕上げとして、日本お土産や思い出をお持ち帰りいただくために京急では、日本の四季や歴史、文化、最新のテクノロジーを伝える情報発信の場を提供し、次回、この羽田空港に帰ってきていただくことを目指してまいります。



参 考

京急ツーリストインフォメーションセンターについて

(1) 場 所 :

羽田空港国際線ターミナル駅 2階到着ロビー階 改札横

(2) おもなサービス内容 :

イ. 首都圏を中心とした交通案内

※交通案内のほか券売機等の利用方法・駅施設・乗車案内など

ロ. 訪日外国人へのP A S M O, 乗車券等の販売

※京急線内の普通乗車券についてはクレジット, 銀聯 (ギンリン) カード決済が可能

ハ. 行政と提携した観光案内

※観光案内については, 下記と連携, 認定案内所として登録されています

・ 日本政府観光局 (J N T O) 「ビジット・ジャパン案内所」 カテゴリー3 (最高ランク)

・ 横浜観光コンベンション・ビューロー「横浜トラベル インフォスポット」

・ 東京都「東京観光案内窓口」

ニ. グループ各社への観光・宿泊客等に対する窓口

(3) 営業時間

7時~22時

(4) コンシェルジュスタッフ数

常時2名体制

(5) 対応言語

4か国語対応 (日・英・中・韓)